

## 馬事公苑（仮設施設）

## 環境影響評価書案審査意見書と環境影響評価書との関連

主な項目	評価書案審査意見書の内容	評価書の記載内容
大気等	馬事公苑においては、本仮設施設の整備と並行して恒久施設の改修整備が行われ、工事用車両の集中が懸念されることから、工事間での情報共有や調整を行うことにより工事用車両が走行する経路や時間帯の平準化を図るなど、事業実施に伴う影響のより一層の低減に努めること。	恒久施設改修整備との情報共有を行い、平準化を図るなどにより、大気汚染への影響の低減に努める計画について追記した。(p. 76参照)
騒音・振動	馬事公苑においては、本仮設施設の整備と並行して恒久施設の改修整備が行われ、工事用車両の集中が懸念されることから、工事間での情報共有や調整を行うことにより工事用車両が走行する経路や時間帯の平準化を図るなど、事業実施に伴う影響のより一層の低減に努めること。	恒久施設改修整備との情報共有を行い、平準化を図るなどにより、騒音及び振動への影響の低減に努める計画について追記した。(p. 97参照)
	工事用車両の走行に伴う道路交通騒音について、本事業による増加分はわずかであるとしているが、計画地周辺の道路交通騒音は、現状でも環境基準と同値又はこれを超過している地点もあることから、環境保全措置を徹底し、工事用車両による騒音のより一層の低減に努めること。	
交通渋滞	馬事公苑においては、本仮設施設の整備と並行して恒久施設の改修整備が行われ、工事用車両の集中が懸念されることから、工事間での情報共有や調整を行うことにより工事用車両が走行する経路や時間帯の平準化を図るなど、事業実施に伴う影響のより一層の低減に努めること。	恒久施設改修整備との情報共有を行い、平準化を図るなどにより、計画地周辺の車両への影響の低減に努める計画について追記した。(p. 104参照)
	周辺交通量に対する工事用車両の割合はわずかであるとしているが、工事用車両に占める大型車両の割合が高いことから、環境保全措置を徹底し、工事用車両による交通渋滞への影響のより一層の低減に努めること。	

主な項目	評価書案審査意見書の内容	評価書の記載内容
交通安全	<p>工事用車両の走行に伴う交通安全は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本評価書案では対象としないとしている。しかしながら、計画地は、多くの住宅に囲まれ、教育施設等の環境上配慮すべき施設も多く存在する立地であり、本事業に対し周辺の道路幅が十分でない箇所も見受けられる。こうした中、本事業と並行して恒久施設の改修整備が行われ、大型車両を始めとした工事用車両の集中が懸念されることから、交通安全の項目の選定について再検討を行うこと。</p>	<p>開催前及び開催後における工事用車両の走行に係る交通安全を環境影響評価の項目として選定するとともに、交通安全教育の実施や交通整理員の配置等により計画地周辺の交通安全に努める計画等について記載した。（p. 23、24、121参照）</p>